

地域活性化雇用創造プロジェクト (地域雇用再生コース) の延長について

【担当省庁】厚生労働省

社会・経済に対する感染症の影響が徐々に小さくなり、社会経済活動の回復に向けた動きが本格化する中で、人手不足が顕著となっている業種がある。また、感染症による雇用情勢への影響に加え、生産年齢人口が減少する中であって、持続的で安定的な経済成長を支えるためには、キャリアチェンジやリスキリングを継続的に支援することが不可欠である。

こうした中、企業の業種転換やキャリアチェンジの取組を支援いただいている「地域活性化雇用創造プロジェクト」の「地域雇用再生コース」が令和5年度で終了とされているが、ポストコロナ社会においても、こうした取組の必要性は高く、これまでの成果を活かし、発展的に継続させるため、同事業を延長いただきたい。

【現状・課題等】

- 新型コロナウイルス感染症の影響を特に深刻に受けたことで事業活動の縮小を余儀なくされた観光・飲食産業などの業種においては、社会経済活動の回復に向けた動きが本格化する中で、現在は人手不足が顕著となっており、POST コロナ社会の情勢に応じた業種転換やキャリアチェンジの促進が必要である。
- 京都府では、「地域雇用再生コース」により、令和3年度から令和5年度までを事業期間とする「府民躍動」きょうとチャレンジプロジェクト」の採択を受け、コロナ禍を契機に先進的な取組が生まれている。
- こうした先進的な取組については、今後も継続していく必要があるが、京都府は通常枠で令和4年度から令和6年度までを事業期間とする「京都の未来をつくる」DX人材育成×産業創発」プロジェクト」の採択も受けており、令和6年度から事業期間が重複する事業の採択を受けることが制度上できないことから、「地域雇用再生コース」が終了すると、取組の継続が困難となる。
- 京都府内有効求人倍率（主な業種）

常用	R5年3月	R4年3月	R3年3月	R2年3月
接客・給仕の職業	2.41	1.70	1.15	2.47
商品販売の職業	1.61	1.82	1.16	2.37
製品製造・加工処理	1.48	1.48	0.97	1.20

京都府 の担当課	商工労働観光部 人材育成課(075-414-4872)
-------------	-----------------------------

【国の事業等】

■地域活性化雇用創造プロジェクト〔厚生労働省〕 52億円

▶ 雇用開発支援事業費等補助金

魅力ある雇用機会の確保や企業ニーズにあった人材育成、就職促進等の地域の課題に対応するための都道府県の取組を支援

▶ 地域雇用再生コース（令和5年度で終了）

新型コロナウイルス感染症の拡大が雇用情勢に深刻な影響を及ぼす中、特に影響を受けた業種等におけるニーズの高い分野への業種転換や、求職者のキャリアチェンジ等を促進し、地域雇用の再生を図る。（コロナ禍を契機に創設され、通常の雇用開発支援事業費等補助金とは別枠で採択を受けることが可能）

【京都府の取組】

■地域雇用再生緊急対策事業費 239百万円

▶ 「府民躍動」きょうとチャレンジプロジェクト（地域雇用再生コースで採択）

求職者の相談からリカレント教育の提供までを一体的に支援し、「学び働き続けることができる社会づくり」をめざし、労働移動等を推進する「生涯現役クリエイティブセンター事業」や、健康・医療・介護等の市場拡大が見込める分野への業種転換、多角化、事業再構築等を支援する「けいはんなデジタル化推進による事業再構築・人材育成支援事業」等9つのプロジェクトを推進

事業年度	R3年度			R4年度			R5年度
	KPI	実績	達成率	KPI	実績	達成率	KPI
正規雇用（人）	184	287	156%	313	559	179%	503
府予算額（百万円）	239			239			239

■京都の未来をつくる「DX人材育成・産業創発」プロジェクト事業費 250百万円

▶ 京都の未来をつくる「DX人材育成×産業創発」プロジェクト（通常枠で採択）

社会課題解決を通じて新たな価値を創造し分野横断で新ビジネスを創造できる人材の育成・雇用創出を行うとともに、中小企業のデジタル化を推進する人材を育成

事業年度	R4年度			R5年度	R6年度
	KPI	実績	達成率	KPI	KPI
良質雇用（人）	91	402	442%	245	415
府予算額（百万円）	250			250	未定